



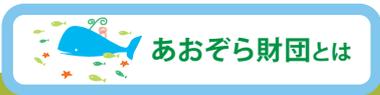
大阪大学大学院特別研究員

谷内 久美子

今回、様々な方々から過去の災害のお話をうかがって、災害時に自分の子どもたちを守ることはできるのだろうか？と真剣に考えました。こうやって災害の記憶を掘り起こすことは、興味深いというだけでなく、今の自分の状況を見直すきっかけになるのではないかと思います。みなさんも身近な人の過去の災害の経験をきいて、

災害に自分が遭ったら、どういう行動をするのか？
 家族や自分の命をどう守ればよいのか？
 普段から何に気をつけた方がいいのか？

といったことをみんなで話してみてもいいでしょうか？



西淀川大気汚染公害裁判(1978~1998)の和解金の一部を使って立ち上げられたまちづくり組織。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4F

Tel:06-6475-8885 e-mail:webmaster@aozora.or.jp http://aozora.or.jp/



西淀川の
災害記憶を
まなぶ

みんなが自分の身の回りの防災について考える際の手がかりになるように、西淀川区の過去の災害についてまとめました。



発行日:2014年2月

発行元:あおぞら財団 <http://www.facebook.com/engoshakyouiku>

協力:大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻

※この活動は公益財団法人JR西日本あんしん社会財団の助成でおこなっています。

西淀川区の過去の災害を知っていますか？

- 西淀川区は、室戸台風、ジェーン台風、第二室戸台風、阪神・淡路大震災などにより、繰り返し大きな被害を受けています。
- 防潮堤の整備などにより大きな水害は起こりにくくなっていますが、西淀川区は、大阪湾、淀川、神崎川と水に囲まれている上に、地盤沈下の影響で土地が低いいため、いったん堤防が決壊すると大きな水害になります。
- 西淀川区は人口の流入、流出が激しいこともあり、過去の災害の経験があまり語りつがれていません。



図 第二室戸台風の高潮浸水域

年月	災害	被害
昭和9(1934)年 9月21日	室戸台風	台風により高潮襲来。区内全域浸水。死者・行方不明者243人、家屋の流出・全半壊516戸
昭和25(1950)年 9月3日	ジェーン台風	台風により高潮襲来。区内全域に浸水。死者・行方不明者58人、家屋の全半壊・流出8,786戸
昭和36(1961)年 9月16日	第二室戸台風	高潮で神崎川氾濫、大和田・出来島・御幣島地区等浸水。家屋の全半壊・流出500戸
平成7(1995)年 1月17日	阪神淡路大震災	区内液状化による不等沈下。家屋全半壊787戸

西淀川区を水没させた第二室戸台風

- 第二室戸台風は、昭和36(1961)年9月16日に大阪を襲った台風です。
- 大阪における瞬間最大風速は50.6m/s、大阪湾の高潮はO.P.+4.1mに達しました。※O.P.:大阪湾最低潮位
- 西淀川区では神崎川が氾濫して大和田・出来島・御幣島では家屋のほとんどが床上浸水の被害を受け、罹災者は大和田小学校や西淀中学校等に避難しました。



水に沈んだ西淀川区(大和田小学校屋上から)西淀川今昔写真集より



次のページから第二室戸台風を経験した西淀川区在住の方に聞いたお話を紹介します。

水害は避難が遅れがち

- ◆お年寄り、赤ちゃん、妊婦といった人ほど避難が遅れる
- ◆水害は音が静かで、気が付いた時にはもう水がそこに！



・近所の人たちは大和田小学校に避難していたが、うちは子どもがまだ6か月だったため、避難所に行くのには抵抗があり、家にいました。外が静かだったので、主人が外に様子を見に出ていきました。50mぐらい行くと、近所の人みんなが「水が来たぞー」と叫んでいました。そこで、70歳のおばあさん、6ヶ月と1歳半の子供と一緒に命からがら逃げました。

(当時23歳、大和田在住、女性)

3

強風で前に進めない

- ◆風が強くて這うように移動。強風時には瓦も飛ぶ

・風がとても強くて、避難する時に這うように移動しました。消防署の横に道沿いにロープが張ってありました。そのロープを握り、消防署員の方が背中を押してくれて何とか移動しました。

(当時31歳、大和田在住、男性)

・風で屋根の瓦が紙のように散っていました。それに当たってけがをした人もいたようです。

(当時41歳、大野在住、女性)



4

浸水すると水に足がとられる

- ◆水に足を取られて前にすすみにくく

・水が膝ぐらいまでできていた中で、水に足がとられながら逃げました。道に寝かしてあった電信柱やゴミ箱が水と一緒に追いかけてきて、とても怖かったです。必死でどうやって逃げたのか思い出せないほどです。

(当時23歳、大和田在住、女性)



5

避難には助け合いが必要

- ◆逃げ遅れた高齢者を救出



・男性3名は78歳の老人がただ一人家に残っているのに気がつきました。

水中を泳いで老人の家に行ってみると水は天井30cmまできており、老人が浮かんだ畳の上で虫の息の状態でした。直ちに天井を破り屋根に引き上げ救出しました。

(第二室戸台風誌【大阪府、昭和37年3月発行】より)

6

どこに避難したのか

◆避難所では物資が足りない



・何も荷物をもたずに、大和田小学校にとにかく避難した。屋上で近所の人みんなと町が水に浸かるのを見ていた。僕は一晩だけ泊まったが、1週間から10日ぐらい小学校にいた人も多い。台風の当日、小学校には食べ物も毛布もなく、あくる日になってやっと届いた。

(当時31歳、大和田在住、男性)

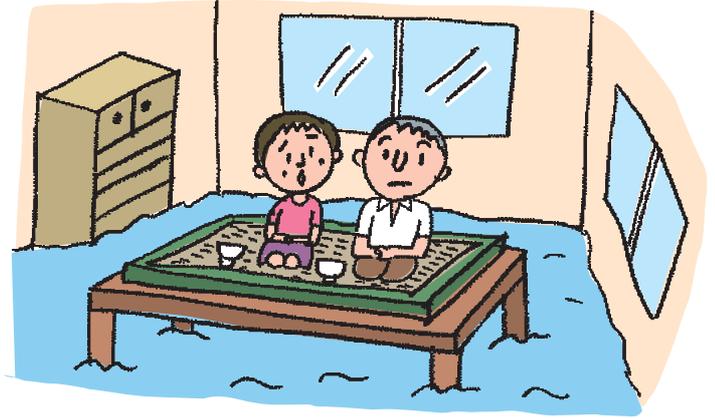
◆避難せずに自宅にいた人も

・自宅は一尺ぐらい水に浸かったが、2階に避難した。当時、2階がある家は少なく、天井が落ちるかと思うほど近所の人があくさんきた。1週間ぐらいいた。

(当時41歳、大野在住、女性)

・避難せずに自宅にいた。水に浸かっているところはテーブルや踏み台の上に畳を敷き、そこで生活した。

(当時27歳、大和田在住、男性)



トイレや食べ物に困った

◆水がなかなかひかない。トイレに困った



出所:大阪府公文書館

・一週間ほど水がひかなかった。水がひいたと思ったら、あくる日の朝にはまた水が浸かっていた。トイレは屋根越しにお隣に行って借りにいった。トイレにはとにかく苦労した。当時は水洗トイレではなかったので、浸水してくる水もとても汚かった。

(当時36歳、大和田在住、女性)

◆指定避難所以外には配給が届かない

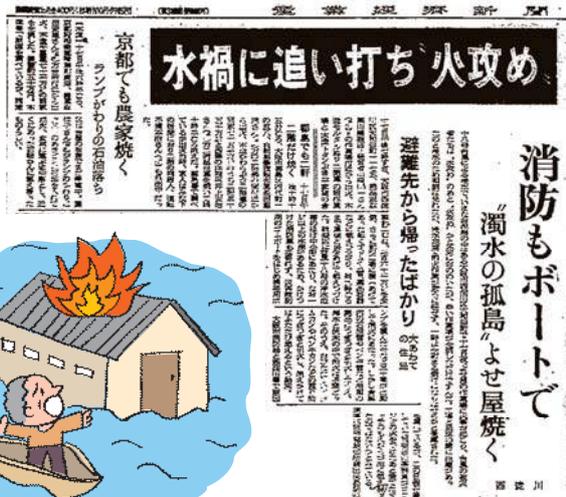


2日も水が引かず、手製のイカダで屋根の上に孤立する被災者におにぎりを配給(大和田) 毎日新聞昭和36年9月17日

・福島女子高等学校(今の好文学園女子高等学校)に避難したが、指定の避難所ではないため配給がありませんでした。それを気の毒に思ったのか、高校の近所に住んでいた人たちが配給を分けてくれました。配給は、おにぎり、パンなど。毛布はありませんでした。

(当時28歳、大和田在住、男性)

◆水害時の火事に「どうもこうもならん水攻め、火攻めや」



出所:産業経済新聞昭和36年9月18日



・浸水中の廃品回収業者の倉庫で、火事が起こっています。現場はまだ胸までつかる水に囲まれて、消火活動も思うに任せず、約二時間半燃えつづけました。原因は、マッチの消しカスが塗料に引火して燃え広がったこと。店主は「どうもこうもならん。水攻め、火攻めや」とつぶやいていたとのことです。

(産業経済新聞(昭和36年9月18日)より)

◆掃除が大変、家財道具は泥だらけ



出所:大阪府公文書館

・床下に汚いものがたくさんあって、掃除が大変でした。子どもが小さかったから床の上にムシロをひいたままではかわいそうだと思って、畳の下に石灰をまいて、早く畳を入れたらみんな腐ってしまいました。まだ床が湿っていたのです。

(当時28歳、大和田在住、男性)

現状の西淀川区の水害への対策

南海トラフ巨大地震の被害想定では、最悪の場合、西淀川区の津波による死者は約2万人と予測されています。

(2013年10月30日大阪府公表)

◆津波避難ビル

西淀川区役所では、津波時に避難できる施設として、公立学校や市営住宅などの公共施設、民間施設を「津波避難ビル」として指定しています。

【津波避難ビル】

(平成26年1月現在)

- ・学校:20か所、公営住宅11カ所
- ・民間施設54か所



◆災害時の要援護者支援

西淀川区役所では災害時要援護者支援名簿の作成、研修会の開催などの仕組みづくりをしています。

【取り組みの内容】

- ・災害時要援護者支援名簿の作成
- ・災害時要援護者の支援に関する研修会の開催
- ・各地域の自主防災組織の立ち上げ



最新情報は、西淀川区「防災・防犯」

(<http://www.city.osaka.lg.jp/nishiyodogawa/category/2023-0-0-0-0.html>)をご覧ください。

災害時の心がまえ

災害は同じ場所に繰り返し起きます。西淀川区は今でも地理的に特に水害が起きやすい地域です。ただ水害には警戒する時間がありますので、よく情報を集め、理解して、前もって準備や行動することが重要です。起きてからでは遅いので、起きるまでに何をするかを考えてみてください。やらなければならないことは人それぞれですので、最後は自分で考えてみましょう。



関西大学社会安全学部准教授
越山 健治 先生

今回の聞き取り調査に
ご協力いただきました皆さま
誠にありがとうございました。



(敬称略)28名

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 岩本 ゆたか | 酒井 政一 | 植田 喜橙子 | 稲岡 隆 |
| 塚口 アキエ | 佐藤 敏夫 | 土井 一夫 | 稲岡 秀子 |
| 岡崎 雅治 | 山崎 光信 | 平木 寿美子 | 松本 ふさえ |
| 荒井 敏明 | 大見 久男 | 平木 福男 | 松本 義隆 |
| 宇都宮 節子 | 平岡 すみれ | 柏原 愛子 | 竹本 妙子 |
| 酒井 美代子 | 柴 よしえ | 西川 日奈子 | 樋口 和恵 |
| 助田 齋 | 岩田 篤幸 | 永田 義昭 | 大島 洋子 |

